



令和8年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年8月6日
上場取引所 東

上場会社名 多木化学株式会社

コード番号 4025 URL <https://www.takichem.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）多木 勝彦

問合せ先責任者 （役職名）総務人事部長

（氏名）岡本 修

TEL 079-437-6002

半期報告書提出予定日 令和8年8月7日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和8年1月1日～令和8年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
8年12月期中間期	23,489	12.0	2,257	32.6	2,624	30.6	1,868	33.5
7年12月期中間期	20,969	7.4	1,702	48.0	2,009	42.1	1,400	38.0

（注）包括利益 8年12月期中間期 4,748百万円（194.4％） 7年12月期中間期 1,612百万円（△53.7％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
8年12月期中間期	223.98	—
7年12月期中間期	165.10	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
8年12月期中間期	70,643	47,492	66.6
7年12月期	65,653	43,328	65.3

（参考）自己資本 8年12月期中間期 47,041百万円 7年12月期 42,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年12月期	—	—	—	75.00	75.00
8年12月期	—	—			
8年12月期（予想）			—	105.00	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

7年12月期 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 5円00銭（創業140周年記念） 特別配当 10円00銭

8年12月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 105円00銭

3. 令和8年12月期の連結業績予想（令和8年1月1日～令和8年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	45,300	7.9	3,450	9.0	4,100	8.5	3,500	6.8
								419.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

8年12月期中間期	9,458,768株	7年12月期	9,458,768株
-----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

8年12月期中間期	1,111,399株	7年12月期	1,119,946株
-----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (中間期)

8年12月期中間期	8,341,910株	7年12月期中間期	8,480,193株
-----------	------------	-----------	------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」もご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しているものの、物価の上昇や中東情勢、金融資本市場の変動による下振れリスクなど不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループにおいては令和6年1月から推進している「中期経営計画2028」に基づいて、既存事業の収益力向上などに努めた結果、当中間連結会計期間の売上高は234億89百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は22億57百万円（前年同期比32.6%増）、経常利益は26億24百万円（前年同期比30.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は18億68百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（アグリ）

肥料の販売数量が秋用肥料の値上がりを見越した駆け込み需要により増加したことに加え、販売価格が原料価格の上昇により値上がりし、売上高は78億32百万円と前年同期に比べ20.9%の大幅な増加となり、営業利益は6億70百万円と前年同期に比べ45.2%の大幅な増加となりました。

（化学品）

水処理薬剤は、主力の凝集剤の販売数量は前年同期並みに推移したものの、原料価格の上昇に伴う販売価格の是正に努めたことにより、売上高は69億22百万円と前年同期に比べ9.6%の増加となりました。

機能性材料は、スマートフォン向け高純度酸化タンタルや自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムの販売数量が減少したものの、原料価格の上昇に伴う販売価格の是正に努めたことに加え、医薬品添加剤の新製品を市場投入したことなどにより、売上高は36億73百万円と前年同期に比べ13.4%の大幅な増加となりました。

その他化学品の売上高は77百万円と前年同期に比べ12.2%の減少となりました。

それらの結果、売上高は106億73百万円と前年同期に比べ10.7%の大幅な増加となり、営業利益は13億38百万円と前年同期に比べ25.6%の大幅な増加となりました。

（建材）

石こうボードの販売数量は前年同期並みに推移したものの、販売価格が上昇し、売上高は19億8百万円と前年同期に比べ3.8%の増加となり、加えてエネルギーコストの減少により、営業利益は87百万円と前年同期に比べ673.4%の大幅な増加となりました。

（石油）

燃料油の販売数量が中東情勢の影響などにより減少し、売上高は8億96百万円と前年同期に比べ13.3%の大幅な減少となり、加えて販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益は1百万円と前年同期に比べ89.8%の減少となりました。

（不動産）

ショッピングセンターの賃料収入は前年同期並みに推移し、売上高は6億56百万円と前年同期に比べ0.3%の減少となり、営業利益は3億73百万円と前年同期に比べ3.1%の減少となりました。

（運輸）

物品販売は減少したものの、貨物輸送量や荷役量が増加したことにより、売上高は15億21百万円と前年同期に比べ15.4%の大幅な増加となり、営業利益は1億93百万円と前年同期に比べ32.9%の増加となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、706億43百万円（前連結会計年度末比49億89百万円増）となりました。流動資産は、商品及び製品が7億43百万円、流動資産のその他が3億91百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が10億8百万円、受取手形及び売掛金が13億87百万円それぞれ増加したことなどにより、309億25百万円（前連結会計年度末比11億8百万円増）となりました。固定資産は、有形固定資産が2億44百万円減少しましたが、投資有価証券が42億55百万円増加したことなどにより、397億17百万円（前連結会計年度末比38億81百万円増）となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が8億5百万円減少しましたが、未払消費税等が2億30百万円、繰延税金負債が13億63百万円増加したことなどにより、231億50百万円（前連結会計年度末比8億25百万円増）となりました。

純資産の部は、利益剰余金が12億43百万円、その他有価証券評価差額金が28億92百万円それぞれ増加したことなどにより、474億92百万円（前連結会計年度末比41億64百万円増）となりました。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは21億6百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは5億2百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは7億1百万円の支出となり、その結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末残高に比べ9億8百万円増加し、81億64百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

売上債権の増加による資金の減少が12億83百万円、仕入債務の減少による資金の減少が8億5百万円、法人税等の支払額が5億55百万円ありましたが、税金等調整前中間純利益26億14百万円、減価償却費7億4百万円、棚卸資産の減少による資金の増加が7億6百万円、その他の資産の減少による資金の増加が5億12百万円、その他の負債の増加による資金の増加が2億42百万円あったことなどにより、21億6百万円の資金の増加（前年同期は22百万円の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

固定資産の取得による支出が4億43百万円あったことなどにより、5億2百万円の資金の減少（前年同期は10億33百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払額が6億25百万円あったことなどにより、7億1百万円の資金の減少（前年同期は6億71百万円の減少）となりました。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績などを踏まえ、令和8年2月9日に公表しました通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（令和8年8月6日）別途開示しております「業績予想の上方修正、配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年12月31日)	当中間連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,166	8,174
受取手形及び売掛金	10,968	12,356
電子記録債権	2,962	2,858
有価証券	199	99
商品及び製品	4,779	4,036
仕掛品	383	551
原材料及び貯蔵品	2,230	2,099
その他	1,141	750
貸倒引当金	△15	△2
流動資産合計	29,816	30,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,782	24,906
減価償却累計額	△17,042	△17,329
建物及び構築物（純額）	7,740	7,576
機械装置及び運搬具	17,737	17,784
減価償却累計額	△16,343	△16,489
機械装置及び運搬具（純額）	1,394	1,294
工具、器具及び備品	2,024	2,100
減価償却累計額	△1,561	△1,649
工具、器具及び備品（純額）	463	450
土地	7,695	7,680
リース資産	440	440
減価償却累計額	△160	△174
リース資産（純額）	279	265
建設仮勘定	197	259
有形固定資産合計	17,771	17,527
無形固定資産		
のれん	82	78
借地権	66	66
ソフトウェア	258	184
水道施設利用権等	10	10
無形固定資産合計	418	339
投資その他の資産		
投資有価証券	17,235	21,490
繰延税金資産	59	49
その他	386	342
貸倒引当金	△34	△31
投資その他の資産合計	17,646	21,850
固定資産合計	35,836	39,717
資産合計	65,653	70,643

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (令和7年12月31日)	当中間連結会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,478	6,673
短期借入金	454	484
1年内返済予定の長期借入金	106	91
リース債務	31	31
未払金	1,624	1,462
未払法人税等	555	718
未払消費税等	134	364
賞与引当金	70	61
災害損失引当金	94	102
その他	599	747
流動負債合計	11,150	10,736
固定負債		
長期借入金	398	323
リース債務	276	261
繰延税金負債	4,140	5,503
災害損失引当金	275	258
退職給付に係る負債	3,384	3,366
預り保証金	2,557	2,556
その他	141	143
固定負債合計	11,174	12,413
負債合計	22,324	23,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,544	1,572
利益剰余金	31,122	32,365
自己株式	△1,964	△1,948
株主資本合計	32,849	34,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,788	12,680
退職給付に係る調整累計額	249	224
その他の包括利益累計額合計	10,038	12,904
非支配株主持分	440	451
純資産合計	43,328	47,492
負債純資産合計	65,653	70,643

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 令和8年1月1日 至 令和8年6月30日）
売上高	20,969	23,489
売上原価	15,837	17,487
売上総利益	5,132	6,002
販売費及び一般管理費	3,429	3,744
営業利益	1,702	2,257
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	295	336
その他	40	40
営業外収益合計	339	383
営業外費用		
支払利息	7	9
廃棄物処理費用	6	3
為替差損	14	—
その他	2	3
営業外費用合計	31	16
経常利益	2,009	2,624
特別利益		
固定資産交換差益	—	3
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	9	1
貸倒引当金戻入額	—	2
特別利益合計	16	9
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	37	16
投資有価証券評価損	8	0
特別損失合計	46	20
税金等調整前中間純利益	1,979	2,614
法人税、住民税及び事業税	570	715
法人税等調整額	11	17
法人税等合計	581	732
中間純利益	1,398	1,881
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失（△）	△1	13
親会社株主に帰属する中間純利益	1,400	1,868

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和8年1月1日 至 令和8年6月30日)
中間純利益	1,398	1,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211	2,892
退職給付に係る調整額	2	△25
その他の包括利益合計	214	2,866
中間包括利益	1,612	4,748
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,614	4,735
非支配株主に係る中間包括利益	△1	13

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和8年1月1日 至 令和8年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,979	2,614
減価償却費	622	704
のれん償却額	2	4
投資有価証券売却損益（△は益）	△9	△1
固定資産売却損益（△は益）	△5	2
投資有価証券評価損益（△は益）	8	0
固定資産除却損	37	16
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△15
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△31	△9
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△41	△54
受取利息及び受取配当金	△298	△343
支払利息	7	9
固定資産交換差益	—	△3
売上債権の増減額（△は増加）	△1,833	△1,283
棚卸資産の増減額（△は増加）	△327	706
仕入債務の増減額（△は減少）	91	△805
その他の資産の増減額（△は増加）	216	512
その他の負債の増減額（△は減少）	△21	242
その他	28	30
小計	423	2,324
利息及び配当金の受取額	298	343
利息の支払額	△4	△5
法人税等の支払額	△740	△555
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22	2,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△769	△443
固定資産の売却による収入	7	20
投資有価証券の取得による支出	△2	△4
投資有価証券の売却による収入	20	10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△172	—
その他	△117	△83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,033	△502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△107	30
長期借入金の返済による支出	△81	△90
配当金の支払額	△466	△625
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△15	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△671	△701
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,742	908
現金及び現金同等物の期首残高	7,458	7,256
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,715	8,164

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

I 前中間連結会計期間（自令和7年1月1日 至令和7年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 （注1）	中間連結 損益計算 書計上額 （注2）
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
アグリ	6,477	—	—	—	—	—	6,477	—	6,477
水処理薬剤	—	6,313	—	—	—	—	6,313	—	6,313
機能性材料	—	3,240	—	—	—	—	3,240	—	3,240
建材	—	—	1,837	—	—	—	1,837	—	1,837
石油	—	—	—	1,024	—	—	1,024	—	1,024
不動産	—	—	—	—	3	—	3	—	3
運輸	—	—	—	—	—	1,262	1,262	—	1,262
その他	—	88	—	—	—	—	88	—	88
顧客との契約から 生じる収益	6,477	9,642	1,837	1,024	3	1,262	20,247	—	20,247
その他の収益 （注3）	—	—	—	10	654	56	721	—	721
外部顧客への売上高	6,477	9,642	1,837	1,034	658	1,318	20,969	—	20,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	36	—	63	40	269	409	△409	—
計	6,477	9,679	1,837	1,097	698	1,588	21,379	△409	20,969
セグメント利益	461	1,066	11	14	385	145	2,084	△382	1,702

（注）1. セグメント利益の調整額△382百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「化学品」セグメントにおいて、洛東化成工業株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において、89百万円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自令和8年1月1日 至令和8年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 （注1）	中間連結 損益計算 書計上額 （注2）
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
アグリ	7,832	—	—	—	—	—	7,832	—	7,832
水処理薬剤	—	6,922	—	—	—	—	6,922	—	6,922
機能性材料	—	3,673	—	—	—	—	3,673	—	3,673
建材	—	—	1,908	—	—	—	1,908	—	1,908
石油	—	—	—	886	—	—	886	—	886
不動産	—	—	—	—	3	—	3	—	3
運輸	—	—	—	—	—	1,462	1,462	—	1,462
その他	—	77	—	—	—	—	77	—	77
顧客との契約から 生じる収益	7,832	10,673	1,908	886	3	1,462	22,767	—	22,767
その他の収益 （注3）	—	—	—	10	652	59	722	—	722
外部顧客への売上高	7,832	10,673	1,908	896	656	1,521	23,489	—	23,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	34	—	55	39	273	403	△403	—
計	7,832	10,707	1,908	952	696	1,795	23,892	△403	23,489
セグメント利益	670	1,338	87	1	373	193	2,665	△407	2,257

（注）1. セグメント利益の調整額△407百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。